

# 令和2年度（2020年度） 事業実績報告書

## 1. 申請者の概要

申請者	団体名		四條畷市商工会	
	代表者職・氏名		会長 上村 一彦	
	所在地		〒575-0052 四條畷市中野3-5-23	
	担当者	職・氏名	事務局長 中川英司	
		連絡先	TEL（直通）：	（072）879-1656
			Fax：	（072）879-1880
E-mail：			<a href="mailto:nakagawa@nawate-sci.or.jp">nakagawa@nawate-sci.or.jp</a>	
①設立年月日		昭和45年4月13日		
②職員数 （うち経営指導員数）		5名（経営指導員5名）（令和3年3月31日現在）		
③所管地域		四條畷市		
④管内事業所数		1, 862（平成28年度経済センサスによる）		
⑤管内小規模事業者数		1, 253（平成28年度経済センサスによる）		
⑥会員数（組織率）		896（令和3年3月31日現在）		
		※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること		
<input type="checkbox"/> 主な事業概要（定款記載事項等）				
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。</li> <li>(2) 商工業に関する情報又は資料を収集し、提供すること。</li> <li>(3) 商工業に関する調査研究を行うこと。</li> <li>(4) 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。</li> <li>(5) 展示会、共進会等を開催し、又はこれらの開催の斡旋を行うこと。</li> <li>(6) 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。</li> <li>(7) 商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。</li> <li>(8) 行政庁等の諮問に応じて、答申すること。</li> <li>(9) 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。</li> <li>(10) 商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む。）を処理すること。</li> <li>(11) 大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。</li> <li>(12) 商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。</li> <li>(13) 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。</li> <li>(14) 輸出品の原産地証明を行うこと。</li> <li>(15) 前各号に掲げるもののほか、本商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。</li> </ul>				

## (1) 事業の目標

- ・小規模事業者の恒常的な課題（資金繰り・販路拡大・業務改善など）を解決するための支援をより充実させる。経営相談、セミナー等の実施、専門家の紹介など、地域の経営支援プラットフォームとしての地位を確立する。
- ・創業について積極的に支援し管内経済の新陳代謝を促していく。創業予定者、あるいは創業5年未満の事業所に対し、事業経営の基礎を学べる場や、地域でのネットワークづくりの機会を提供する。
- ・地域コミュニティの拠点である商店街について、その構成要素たる個店の魅力を向上させることで売上増加を目指し、個店の繁栄をまち全体の活性化に繋げる。事業として産業紹介展示を実施。市民へのPRの場を提供する。
- ・金融機関と中小企業者とのマッチングイベントにより、ネットワークを組み、総合的に中小企業者の経営力の向上に寄与していく。
- ・事業継続力強化支援、JPQR関連の啓発をすすめる。

## (2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

- 【内容】A：経営相談、B：①女性のためのプチ創業セミナー、②地域の金融機関や支援機関との「地域支援ネットワーク」推進事業、C:専門相談、D:商工会連携
- 【方法】①についてはオンラインで実施した。②は四條畷市市民総合センターの広い部屋を借り、ソーシャルディスタンスを確保するなど、コロナ対策を徹底した。
- 【工夫】専門家(中小企業診断士)に常駐してもらい、経営指導員とともに補助金、助成金、支援金、金融相談など幅広く支援した。また、非会員がかなりの人数の方が来所されたので、1件あたり1時間以上かかるなど、時間が費やされた。よって、今年度はイベント関連の事業がないにもかかわらず、時間的余裕もなかった。しかし、①府の金融相談員、②よろず支援拠点相談員、③全国連(商工会)相談員の派遣により、専門性の高い方々と連携して支援できたのは経営指導員には刺激になった。今後の経営相談に活かせる。

## (3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

- 【効果】今年度は支援金、補助金、給付金等がすべて、スマホ、PCを活用しないと申請できなかった。よって、e-mailアドレス取得、PC購入、Wi-Fi設置、弥生会計クラウドを勧めるなどの支援した事業所もある。基本ペーパーレスでも経営ができることを伝えた。ITリテラシーがこれほどクローズアップされた年もなかったかもしれない。今後、中小企業のDX化は課題である。

## 【状況】

飲食業はパンデミック当初から景気が悪化し、8月ごろから製造業は悪化していった。先行きが見通しが不透明で、資金繰りで多忙であるため、前向きな忙しさではない。後退している。確定申告の状態を見ると、売上自体はそんなに悪化はしてないが、これを機に廃業という方が散見された。また金融で多額な借入をしたため、据え置き期間が終了した後の経営の苦慮が出てくると思う。

## (4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

- 【課題】零細企業はDX化を意識せざる負えなくなってきた。またFAXの使用も一考の余地がある。在宅ワークを考えるとPCひとつで完結できる環境づくりが必要であり、5Sを意識して、ペーパーレスを実現する方向性が必要かもしれない。スマホの活用も必須になってきた。生産性向上のため、PC、WI-FI、メールアドレスは必須である。同時にe-taxの推進もしていきたい。

## (5) 次年度の取り組み

R3年度もコロナ禍の影響を受けると思うので、イベント、集合セミナー等は気をつけて実施したい。無理に集合させるのではなく、ハイブリッド形式や、オンラインのみで実施など感染しないように事業を進めるべきである。また、長年の自粛により、売上、利益が低下、経営体力にダメージがでたため、金融等の追加の手当が必要である。また、廃業も一つの手段かも知れない。よって、事業承継、IT化を中心に支援していきたい。

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 四條畷市商工会

**I 経営相談支援事業**

支援のポイント・成果

【ポイント】コロナ禍の影響が大である。専門相談員5人ととも会員、非会員の対応にあたった。よって、お互いに情報交換しあいながら、相談事業は進めて行った。専門相談員は違った視点から、また専門性の高さから経営指導員に与える影響は大きかった。しかしながら、非会員はまったく属性がわからない状態から始まる、また資料がまったくないなど一から百まで指導する感覚であった。電話だけで1時間以上、事情を聞くこともあった。それらが例年と違うところである。

【成果】  
デマなども飛び交い、偽物の情報を持ってくる事業者に対して対処できる強みができたと思う。また非会員から会員になった事業者もいる。しかしながら、本来のじっくりと相談に乗ることはできなかった。確定申告も完全予約制としたため、1日あたりの対応者数に上限があり、早く帰ってもらったり、いつもと違う対応となった。しかし時間の有効活用の面から雑談も長かった過去から見ると、本来の経営相談業務だと思う。それがメリットである。

【代表カルテ】  
創業予定者でサーバーネットワーク構築、プログラム開発を業とする相談を支援した。配偶者はすでに創業されていて、業界もほぼ同じである。本人はCCNP、ネットワークスペシャリストなどの資格を保有している。法人設立し、公共機関等へ入札も考えている。法人設立にかかる登録免許税の減免も希望されており、4回の相談実績となった。融資面では地元の枚方信用金庫支店長も同席。融資の知識を得られた。営業面では、会社の強みのPR、労務面では従業員雇用など課題は山積するが支援を続けていく。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	300	300	100.0%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	10	6	60.0%	3
金融支援（紹介型）	支援数	20	5	25.0%	2
金融支援（経営指導型）	支援数	20	8	40.0%	3
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	0	0		5
資金繰り計画作成支援	事業所	50	189	378.0%	5
記帳支援	事業所	20	19	95.0%	5
労務支援	支援数	20	4	20.0%	2
人材育成計画作成支援	事業所	0	0		5
マーケティング力向上支援	事業所	80	1	1.3%	1
販路開拓支援	支援数	100	41	41.0%	3
事業計画作成支援	支援数	10	7	70.0%	5
創業支援	事業所	20	1	5.0%	1
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	32	197	615.6%	5
コスト削減計画作成支援	事業所	5	11	220.0%	5
財務分析支援	事業所	100	146	146.0%	5
5S支援	事業所	5	32	640.0%	5
IT化支援	事業所	30	9	30.0%	3
債権保全計画作成支援	事業所	0	0		5
事業承継支援	事業所	20	1	5.0%	1
災害時対応支援	事業所	0	0		5
フォローアップ支援	事業所	200	0	0.0%	5
結果報告	事業所	300	300	100.0%	5

**II 専門相談支援事業**

支援のポイント・成果

【ポイント】金融相談の担当者が来れなくなり、実績が0となって、今年は実施できなかった。その代わりに、経営相談として中小企業診断士が深く支援できたと思う。また経営指導員との情報交換の相乗効果もあったと思う。いろいろな専門家と事業者をつないだことは大きな収穫であった。

【成果】パンデミックのため、税理士のキャンセルが相次いだ。よって、計画数に届かなかった。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
税務相談	継続	実施日数	25	17	68.0%	5
経営相談	継続	実施日数	32	40	125.0%	5

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>【ポイント】</p> <p><b>(女性のためのプチ創業セミナー)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集合セミナーからオンラインのみで行った。</li> <li>・参加者率は80%であった。</li> <li>・創業に関する知識は得られたと思う。</li> <li>・これから創業の準備をされると思うので商工会として支援していく。</li> </ul> <p><b>(地域の金融機関や支援機関との「地域支援ネットワーク」推進事業)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加事業者数は14名であった。</li> <li>・ネットワーク会議は各金融機関の意見が聞けて、初めてとしてはいい情報交換となった。</li> <li>・2日間に分けたことは良かった。①ネットワーク会議②管内事業者とのマッチング相談会</li> </ul> <p>【成果】</p> <p><b>(女性のためのプチ創業セミナー)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これから商工会の利用促進ができたと感じる。</li> <li>・創業者が中小企業診断士と意見交換ができた</li> <li>・創業計画書を作成するために、金融機関の相談にも当会の利用を勧めた。</li> </ul> <p><b>(地域の金融機関や支援機関との「地域支援ネットワーク」推進事業)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも各金融機関との連携を密にできる可能性ができた。</li> <li>・相談者からは、また実施してほしいとの意見があった。</li> <li>・事業者とのマッチングについては商工会がハブの役割をした方がいいと感じた。</li> </ul>										

(1) 単独事業

府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	女性のためのプチ創業セミナー	10	8	80.0%	77.5	創業の準備にとりかかった人数	5	4	80.0%	5
○	地域の金融機関や支援機関との「地域支援ネットワーク」推進事業	30	14	46.7%	86.4	個別相談ブースでの相談社数	10	1	10.0%	5

(2) 広域事業 (幹事事業のみ)

府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

四條畷市商工会

事業名		女性のためのプチ創業セミナー							
想定する実施期間		H30 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	昨今の不況の影響や高齢化に伴う廃業により、小規模事業者は減少傾向である。市内で開業していただくため、小資本、小スペースで開業できるよう実例を交えて指導してもらう。また創業者の交流や情報交換する機会を設け、今後の活動に活かしてもらう。商工会と関わることで、行政並びに金融機関等と連携して準備することができる。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	子育て世代・シニアの女性で創業を検討・準備している方、創業後5年以内の方							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>創業を検討・準備している方、創業後5年以内の方を対象に、創業までの過程や課題、創業の魅力等を紹介してもらう。今回は、自宅で出来る製品、サービスの事例を中心に「初期投資の小さい商売」について講義していただいた。セミナーとディスカッションを組合した講義とした。意見交換を活発にし、ゼミのような雰囲気ワークショップを開催。</p> <p>尚、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応のため、実施方法を「対面」から「オンライン」により実施した。</p> <p>日時：令和2年11月21日（土） 午後2時～4時 講師：中小企業診断士</p>							
	<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>								
	①府施策連携	(a)府施策連携商13番 商業・サービス産業課と連携し、本事業の募集にあたっての大阪府のメルマガの活用。							
	②広域連携	-							
③市町村連携	(c)市町村連携 市役所産業振興課と連携。								
④相談事業相乗	(d)相談事業相乗効果 創業相談に乗る。また、日本政策金融公庫、市内の金融機関（枚方信用金庫）の協力を得て事業のPRを行った。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	10.0	総支援企業数(実績)	8.0	支援実績率	80.0%	満足度	77.5
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>具体的なところまでは計画は落とせないが、時間的制約もあり、創業の概要は理解できたとの感想が多かった。創業予定者同士で他人の意見を聞ける機会もないので、今後も継続する価値はあると思う。</p> <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し何をしていくかを検討してから準備をする</li> <li>・広報の力をつける為に動画制作の知識や周辺機器の準備</li> <li>・詳細な日程の計画</li> </ul> <p>などがある。詳細の創業計画書を作成する際は伴走支援を行う。</p>							
	代表指標	創業の準備にとりかかった人数							
	数値目標	5	実績数値	4	目標達成度	80.0%			
	成果の代表事例	「準備はする」、または「何となく考えている」は多くの意見であったが、創業意欲に関しては、時間を費やしてまで参加しているので、今後2、3年後に当会へ訪れる可能性は過去にもある。創業計画は金融を中心にじっくり練った方がいい。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>次期はディスカッション形式10名を3回に分けて、ソーシャルディスタンスを保ちながら、実施する。実際に会ったほうが情報量が多いと思う。</p> <p>今回のオンラインでなかなか初対面で意見するのは難しい面もあった。開催時期もコロナ禍の影響によりペンディングになった。7月開催予定だった11月開催となった。</p> <p>令和3年度も様子を見ながらの実施になると思う。令和2年度参加者も含め、それ以前の創業セミナー参加者にも例年通り、開催案内は送付する。</p>							

令和2年度（2020年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

四條畷市商工会

事業名		地域の金融機関や支援機関との「地域支援ネットワーク」推進事業													
想定する実施期間		R2 年度～ R2 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること													
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	地域の中小企業者が安定的に事業を継続し、さらなる発展を図るためには、金融面のみならず経営力向上へのサポートが不可欠である。令和元年10月の消費税増税に伴い、特に小規模事業者は痛手を受けつつある。このため、商工会は地元の都銀、地銀、信用金庫、信用組合と連携して、「金融と経営支援の一体的取組み」を実践していく。金融機関や大阪府等との連携のもと、金融セミナーの実施などを通じて、中小企業者と金融機関、商工会との新たな関係構築を図り、中小企業者の資金調達面を主に経営力の向上、さらには地域活性化に寄与することを目的とする。													
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内中小企業者													
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>I. 地域支援ネットワーク会議                      日時：令和3年1月14日（木） 午後3時～4時                      場所：四條畷市商工会館 2階 研修室                      【金融機関】                      ①南都銀行 大東支店、②大阪信用金庫 四条畷支店、③(株)りそな銀行 住道支店、④枚方信用金庫 忍ヶ丘支店、⑤のぞみ信用組合 四条畷支店、業務部、⑥(株)京都銀行 交野支店、⑦日本政策金融公庫 守口支店、⑧大阪信用保証協会 門真支店                      【行政機関】                      ①四條畷市 市民生活部 産業振興課、②大阪府 商工労働部 金融課 制度融資グループ</p> <p>四條畷市商工会、四條畷市産業振興課、地域支援ネットワーク参画金融機関、日本政策金融公庫、大阪府及び大阪信用保証協会等で構成する地域支援ネットワーク会議を実施し、ネットワークの構築や強化とともに、各支援団体の取組状況の情報交換、イベントの開催内容の検討等を行った。</p> <p>II. 事業者と管内金融機関とのマッチング相談会                      ネットワーク参画機関と連携して、管内金融機関と中小企業者のマッチングを行うための事業資金等金融機関商品・サービスの紹介、名刺交換会を開催。                      日時：令和3年1月26日（火） 午後3時～4時30分                      会場：四條畷市総合センター 3階 第4会議室                      参加金融機関数：8行（17名）                      参加事業者数：14社+市1名（四條畷市産業振興課課長）                      内容：                      ①各金融機関の融資や経営サポートの取組みの説明のほか、府制度融資や政府系金融機関の貸付制度説明                      ②参加金融機関、参加事業者との名刺交換会を開催。                      ③個別相談ブースを設置し、事業者の相談に応える。⇒相談票を金融機関側で作成。</p>													
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>													
		<table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td>・府施策連携商26番</td> </tr> <tr> <td>(a)</td> <td>大阪府 中小企業支援室 金融課 制度融資グループと連携して事業を実施する。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>(c) 四條畷市 産業振興課と連携し、事業PRを展開していく。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td>(d) セミナー・交流会への参加者に対するアンケート等により相談等ニーズを把握し経営支援に繋げ、カルテ化を図る。</td> </tr> </table>		①府施策連携	・府施策連携商26番	(a)	大阪府 中小企業支援室 金融課 制度融資グループと連携して事業を実施する。	②広域連携	-	③市町村連携	(c) 四條畷市 産業振興課と連携し、事業PRを展開していく。	④相談相乗	(d) セミナー・交流会への参加者に対するアンケート等により相談等ニーズを把握し経営支援に繋げ、カルテ化を図る。		
①府施策連携	・府施策連携商26番														
(a)	大阪府 中小企業支援室 金融課 制度融資グループと連携して事業を実施する。														
②広域連携	-														
③市町村連携	(c) 四條畷市 産業振興課と連携し、事業PRを展開していく。														
④相談相乗	(d) セミナー・交流会への参加者に対するアンケート等により相談等ニーズを把握し経営支援に繋げ、カルテ化を図る。														
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	14.0	支援実績率	46.7%	満足度	86.4						
目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	金融機関とのつながりの重要性や各種の融資制度情報を含め、資金調達に関する理解を深めることができる。さらには、参加企業自らが自社の経営戦略等を見直す契機として事業改善への意欲を持ち、その後の商工会の経営支援等を通じた経営力向上（資金調達力含む）が期待できた。また、地域の金融機関間の連携も取れた。これからも政府系および民間金融機関を交えて、ネットワーク会議を開催していきたい。														
	代表指標	個別相談ブースでの相談社数													
	数値目標	10	実績数値	1	目標達成度	10.0%									
成果の代表事例	リフォームなど資金使途が明確な事業所は担当と名刺交換ができるだけでも、融資が進みやすいと思う。知り合う機会がお互いにならないため、双方のメリットを感じられた。														
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度										
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	コロナ禍の中での開催であったため、事業者、金融機関からも開催の可否は直前まで問い合わせがあったが開催できた。ネットワーク会議は随時開催しても意義があるものだと感じた。各金融機関の金融商品にばらつきがあったがそれは個性であり、ターゲットがどこにあるのか知るいい機会だった。商工会が核とならないと、集めることができない部分もあるため、商工会が中心として機能していきたい。													